

(別紙)

## 第三者評価結果

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市では、合併後市全体で「理念」、「基本方針」を定めています。職員室に掲示し、日頃から職員が確認できるようにしています。保護者に対しては入園時において「入園のしおり」等の資料を配布し説明をして周知を図っています。しかし、保護者アンケートの結果において1割程度の保護者の方から、説明が不十分な点が見られました。なお一層、保護者の方々へ周知する工夫を行うことに期待します。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市では、保育に関する環境変化等の分析、今後の課題基本政策を「栃木市子ども・子育て支援事業計画」「施設カルテ」にまとめています。今後は園としての保育のニーズを把握して、分析することに期待します。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「栃木市子ども・子育て支援事業計画」、「施設カルテ」で経営課題を明確にして保育園の充実に向けての具体的な取り組みが栃木市において進められています。しかし、職員の周知については、職員アンケートの結果から不十分な点が見られました。今後は、職員会議で説明する機会を設けて理解を促すことに期待します。</p>		

#### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期の事業計画、収支計画は「栃木市子ども・子育て支援事業計画」に策定しています。この計画に基づき目標を掲げ、保育所の良さや独自性を再確認するとともに課題を明らかにしな</p>		

がら実施しています。また、財政面においても予算に応じた適切な運用に努めています。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「栃木市子ども・子育て支援事業計画」を反映し、保育課程・年間指導計画・年間行事予定等を策定しています。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画は栃木市大平南第1保育園ともすり合わせを行い策定しています。職員会議で計画の実施状況の把握・評価・見直しを行っています。しかし、職員アンケートの結果において、現場の意向の反映や職員の理解を深める取り組みについて不十分な点が見られました。今後は、職員が事業計画に参画し理解を深める取り組みに期待します。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園式や保護者総会(栃木市大平西保育園愛育会)の資料において事業計画について周知を図っています。毎月配付する「園だより」で案内するほか、必要な事項についても文書で案内しています。外国人保護者等、配慮が必要な保護者には、わかりやすく説明して対応しています。</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年2回(8月・2月)に自己評価チェックを行い栃木市に提出しています。また第三者評価を定期的に受審し質の向上に努めています。しかし、職員アンケート結果において職員の意見を反映する仕組みについて、不十分な点が見られました。今後は、職員間での共通理解と意見を反映する仕組みづくりに期待します。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員会議において、自己評価チェックや第三者評価の評価結果を分析し取り組む課題を明確にしています。今後は、改善計画を文書化し、必要に応じて見直しを行うことを期待します。</p>		

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
--	---------

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職務分担表、保育手帳の緊急連絡先一覧、防火管理者等、権限範囲や役割について明示されています。園長不在時の権限委任等について明確化しています。これらの役割や責任について、職員の方々に理解される取り組みに期待します。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、栃木県保育協議会における施設長研修会の中で遵守すべき法令等を学び、職員会議や園内研修会で職員に説明しています。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、日々の保育の様子を伺い、日誌や月案・週案の反省を確認しながら定期的に評価・分析を行い、改善策を指導しています。また、自己評価チェックにより、職員一人ひとりの課題を把握し評価しています。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市の規定に沿って物品購入を行い、財務等を考慮し、効率よく業務ができるような取り組みを行っています。今後も職員の意向を取り入れ、経営の改善や業務の実効性を高める取り組みに期待します。</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>人員体制については、保育園の配置基準に基づき適切な人員配置がされています。職員数の確保や看護師の配置が整っています。また、支援児担当者向けの研修に参加し、保育の質を確保するための取り組みを行っています。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市が行う人事評価システムにより、職員は評価を行っています。また、園長は職員との面接により成績考課・能力考課・情報に対して評価を行い、その結果を保育課長へ報告しています。</p>		

今後も、理念・基本方針に基づく「期待する職員像等」を明確にしたうえで職員の育成・活用(採用・処遇・報酬等)の評価の取り組みに期待します。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の就業状況は勤務表・出勤簿・年次有給休暇簿で管理しています。職員の就業状況や意向・意見を個人面談において把握し、人員体制に関する具体的計画に反映し進めていく仕組みができることを期待します。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>目標管理制度に関わる規定(基準)があり、年度初めに目標を設定しています。年度の初めと期末に園長と職員が面接を行い、目標達成と取り組み状況を確認し、評価と振り返りを行っています。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>研修の受講については、職員に平等に受ける機会が設けられ、目標を明確にし、体系化された研修計画が行われています。園外研修に参加した職員の報告レポートや感想は、すぐに回覧され、職員間で共有しています。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員一人ひとりの能力・クラス運営・行事の実施力・経験年数を把握して、研修の機会が確保されています。研修後には報告レポートを提出し回覧され、保育士の資質の向上に努めています。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生の受け入れについては、園の意向を伝え、各学校との覚書を取り交わし、事前打ち合わせを行っています。実習生受け入れに関する意義や方針を全職員に周知し、指導者に対する研修を行うなど、なお一層の受け入れ体制が整備されることを期待します。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市のホームページ・栃木市大平西保育園愛育会の総会資料・入園のしおり等で財務状況な</p>		

どの情報公開を行っています。入園のしおりに苦情解決窓口相談体制について保護者に周知しています。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職務分掌・職務分担表にて職員に周知を行っています。公立保育園のため、行政監査を受けています。監査書類には、出納帳簿・予算書・契約関係書類・時間外勤務命令簿等があります。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>コロナ禍以前は、地域子育て支援センター・デイサービスへの訪問・地元のお祭りの参加など地域交流を行っていました。現在は実施を見合わせています。今後は、園児が作成した折り紙を老健施設に配布など間接的に交流できるような取り組みに期待します。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>コロナ禍以前は、民話の会のお話会、中・高校生の体験学習等を受け入れていました。現在は実施を見合わせています。今後は、保育園独自のマニュアルを作成するとともに基本姿勢を明文化し、受け入れ体制の整備を期待します。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>小学校・幼稚園とは幼保小連絡協議会にて連携を図っています。さらに、こどもサポートセンター・子育て支援センター・健康増進課保健師との連携を図り、支援の必要な子どもへのアドバイスを受け、家庭支援を行う取り組みを行っています。関係機関団体の機能や連絡方法を記載した資料の保管場所や内容が、必要に応じて職員が活用できるようになっています。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>コロナ禍以前は、子育て支援センター交流会への参加・地元自治会と協力して園の行事への参加を呼びかけることを行っていました。園独自に多様な支援活動が行えるような取り組みに期待します。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b (c)

<コメント>

職員の自己評価から「取り組みは行っていない」との意見があり、地域の福祉ニーズを把握するための取り組みを確認することはできませんでした。今後、地域住民からの意見や要望を把握するなどの積極的な取り組みに期待します。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「子ども一人一人の人権を尊重しすこやかな成長、発達を図る」と子どもを尊重する姿勢が保育理念に明記されています。栃木市の公立職員に配布されている保育手帳に「子どもの人権に関するチェックリスト」の記載があり、園内研修で保育手帳の読み合わせをすることで人権尊重の意識を高めています。また、子どもの人権に関するチェックリストを年2回実施することで、子どもの尊厳を尊重した保育の実践の振り返りを行う取り組みを行っています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a Ⓑ c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子供のプライバシー保護について、人権保護に関するチェックリスト・園内研修・職員会議で、職員がプライバシー保護の具体的な知識、姿勢、意識理解ができるように職員に周知しています。子ども用トイレに扉がついてないトイレについては、排泄時の子どものプライバシーに配慮した工夫をすることが望まれます。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市が「入園案内」を作成し、ホームページや広報に記載されています。利用希望者に向けた入園説明会の日程のお知らせを栃木市保育課、ホームページに記載し入園説明会を行っています。また、栃木市総合支所や子育て支援センターに「入園案内」を設置して情報提供を行っています。なお施設見学者には子どもを安心して預けられるように施設内を丁寧に説明しています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園説明会で保育理念、保育方針の記載がある「入園のしおり」と「重要事項説明書」について詳しく説明を行っています。その際、外国籍の保護者には個別に対応するなどの配慮を行っています。「保育園のしおり」は保育園の一日を絵と文字で表記し、年間予定表の保護者参加が予定</p>		

の行事に○印を付けるなどの、保護者にわかりやすい内容のしおりとなっています。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・ <input checked="" type="radio"/> c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所等の変更にあたっては「転園に関する書類(保育園変更時の書類)」で次の園と適宜連携を図っています。しかし、職員の自己評価の保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮していない、との回答が多い事から配慮や手順等を整えるとともに職員に周知する取り組みを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年度初めに、クラス懇談会を行い、園の様子、保育方針をクラス担任から説明を行っています。また、保育参観や運動会等の行事後に保護者のアンケートを実施しています。その集計結果をもとに職員会議で話し合うことで次年度の行事に生かしています。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・ <input checked="" type="radio"/> c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>第三者委員の記載がある「苦情申出窓口」の設置案内通知を掲示しています。「入園のしおり」に苦情解決窓口、第三者委員が設置されていることも記載されています。ご意見箱の使用頻度はあまりありませんが、意見や要望が発生した際には、「苦情処理関係(記録)」に記入し、苦情相談に基づき職員間で周知することで保育の質の向上に関わる取り組みが行われています。しかし、保護者等に公表はされていません。今後、意見を申し出た保護者に配慮したうえで改善結果などを公表する体制を整えることに期待します。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・ <input checked="" type="radio"/> b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者からの相談は、担任が対応することが多く日頃から保護者とのコミュニケーションをとり相談しやすい環境づくりに努めています。また、相談室は設置されていませんが保護者から目につかないスペースを確保することで、相談・意見が述べられる環境に配慮しています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <input checked="" type="radio"/> b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>対応マニュアルは整備されていませんが、送迎時の相談等などは記録に残し、園全体で周知ができるように、会議等で伝える取り組みを行っています。意見・相談内容について園で回答が難しい場合には栃木市保育課に確認したうえで保護者へ回答するように努めています。今後、組織的かつ迅速に対応できるよう、マニュアルを作成することを望みます。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	<input checked="" type="radio"/> a・b・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市が「緊急時対応マニュアル」を策定しています。日々の保育の中で危険な場所の事例があった際には、ヒヤリハット報告書に記入し、月1回のヒヤリハット会議で報告・分析を行い、職員間で共有することで事故防止へとつなげています。また、事故発生時を想定してアクションカードを使った園内研修の実施、水中安全講習に参加するなど事故防止、事故発生時の対応に取り組んでいます。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市が「健康危機管理マニュアル」、「栃木市職員新型コロナウイルス感染予防対応マニュアル」を策定しています。感染症の予防と発生時に対応の職員役割分担や動き方等を園内研修や回覧で周知しています。各クラス・ホールに感染症に関する情報提供を掲示することで、保護者への情報発信を行っています。また、感染症が流行した際には園長が全職員、保護者へ一斉メールで情報発信することで状況把握の周知を行っています。園舎内・外の清掃を業務員の方が行き、新型コロナウイルス感染症予防対策で手すり・トイレ等の消毒・清掃をこまめに行っています。各クラスにおいても職員の方が消毒を行うなど、感染症予防に努めています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市が「自然災害時対応マニュアル」を整備し園として「避難訓練実施計画書（引き渡し訓練含む）で様々な場面を想定し毎月避難訓練を実施しています。年2回は、消防大平分署と連携した避難消火総合訓練を実施しています。訓練前には、子ども達に紙芝居で避難訓練について話をして訓練後には子ども達の訓練の様子を「避難訓練実施記録」に記入しています。災害時の非常食については、備蓄管理担当保育士が毎月15日に確認し、備蓄リストに記入しています。賞味期限が近い食材は、防火の日にカレーの試食やおやつ時に提供しています。アレルギー対応の非常食も備蓄されており、災害時の対応に整備されています。2階に未満児クラスがあることから、子どもの安全を守る避難経路、設備の整備を検討することを望みます。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育における標準的な実施方法が文書化されていますが、職員自己評価の結果、配布のみで明確ではない、との意見が多くありました。園として確認の仕組みを整えていく取り組みに期待します。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

<p>保育における標準的な実施方法については、定期的に主任保育士会で見直しが行われていますが、数年前の資料となっています。見直しに職員の意見があまり反映されていないとの意見があることから、見直し等を行う仕組みを明確にすることを望みます。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年間指導計画に基づき月案・週案が立てられ、振り返りが行われ、次の計画が作成されています。支援が必要な子に関しては、「すくすくシート」を活用し、保護者の要望等も聞くとともに関連機関との連携を図り支援体制を整えています。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人の指導計画（すくすくシート）は、保護者の意向・同意を得ています。月案・週案の指導計画については、園長・主任保育士が確認をし、月末に振り返りを行っていますが、指導計画についての評価と計画の見直し手順が不十分との意見があります。園としての見直しによる指導計画の手順を関係職員に周知方法や仕組みを整備することを望みます。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の記録、成長の記録は、日誌や児童票に記録しています。記録の内容や書き方に差異が生じないように、園として記録要録の作成や職員への指導を工夫することが望まれます。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市文書規定により子どもの記録等は、特定の場所に施錠し保管しています。廃棄についても規則に従い実施しています。職員は保育手帳の読み合わせや職員会議で個人情報保護について周知しています。保護者には、入園時や年度初めに「重要事項説明書」、「個人情報使用同意書」の説明を行うことで周知されています。</p>		

## A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栃木市公立保育園で統一された保育課程を基に、保育園の理念や方針・子どもの発達や成長を踏まえ、園の特性を生かしながら生活の連続性に配慮した計画となるように作成しています。年度末には内容や家庭の状況について職員間で話し合い、より良い保育となるよう次年度に生かしています。今後も、移り変わる環境や地域の実態に合わせた全体的な企画作成に期待します。</p>		

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園舎内は、常に清潔に保たれ、適切な温度・湿度の調整や毎日使用する玩具や寝具の衛生管理を徹底し、様々な感染症の予防に努めています。年齢別に着目したチェックリストに基づき、こまめな安全点検や事故防止点検を実施し、子どもたちが安心安全且つ快適な園生活を過ごすことができるよう配慮しています。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士は、一人ひとりの発達や内面的な状態を十分に理解し、子どもの思いに寄り添い受け止めながら個々に即した援助を行っています。園での様子は記録に残し、職員間において情報を確認・共有し、心身ともに健やかな成長を願い、より良い保育となるように努めています。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者には、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけることの大切さをお伝えし、家庭での生活状況やリズムを考慮しながら、発達に応じた援助を行っています。各クラス複数の職員が配置されているため、子どもの状態を確認し合い、習得できるよう細やかな配慮と連携の上、自分でやろうとする気持ちを育てています。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園周辺の散歩や遊具・鬼ごっこなど、戸外遊びの中でおもきり身体を動かす時間を設け、子どもたちの考えや思いを活動に取り入れながら、自らやってみようとする意欲を大切に育てています。今後は、園の目標でもある「地域の中で育つ子」として、子どもの豊かな感性を育むために地域に向けた情報発信やさらなる園の取り組みに期待しています。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個々の発達や生活のリズム（食事・入眠の癖等）に合った個別の指導計画を作成し、ゆったりと過ごせるよう複数担任を配置しています。特定の保育士が関わることで愛着関係を築き、情緒の安定を図っています。入園の際には、「離乳食のすすめ方」と題したプリントを配布しています。園での様子をノートに記入して保護者に伝え、育児の相談にも応じるなど、保護者支援に努めています。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳未満児において、一人ひとりの発達や状況に応じた指導計画を作成し、自我の育ちを見守りながら、自らやろうとする気持ちを大切にした保育を行っています。1歳児クラスの部屋は2階にあるため、異年齢児と関わる機会は限られてしまう事もありますが、複数の職員を配置して連携を図りながら、安心・安全に過ごせるよう環境づくりに努めています。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳以上の保育は、発達段階を考慮した指導計画を作成し、基本的な生活習慣を身につけるとともに、年齢に応じた活動体験を取り入れながら健やかな心と身体を育てています。また、ごっこ遊びや様々な行事を通して、友だちとの関りを深めるとともに一人ひとりの思いや考えを尊重し、互いに協力し合いやり遂げることの大切さを学んでいます。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者との面談を基に栃木市内保育園共通の個別指導計画（すくすくシート）を作成し、短期・長期目標を立て、発達や障害に応じて関係機関と連携を図りながら生活しやすい環境が提供できるようにしています。担当保育士が研修等により知識を得ながら保育に役立てています。今後は、職員間において理解を深めていくための更なる取り組みが望まれます。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>夕方以降の時間は、年齢別の部屋から異年齢の子どもと一緒に過ごす部屋へと移動し、体調の変化に留意しながら安心・安全に過ごせるよう長時間の保育にあたっています。日中の様子や連絡などは、担任より引継ぎを受けた担当保育士が口頭で保護者に伝え連携を図っています。今後は、環境設定について職員間での再確認が求められます。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>5歳児クラスにおいては、就学を見通した活動内容が組み込まれた指導計画を作成しています。10月以降は小学校生活のリズムに合わせ午睡の時間をなくし、数字や文字に触れる機会を取り入れ、関心が持てるよう保育を進めています。一人ひとりの発達や成長について、小学校教諭との情報交換の場を設け、連携を図っています。今後は、保護者に向けた取り組みを期待しています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>朝の体温などを記入した「健康カード」を提出してもらい、その日の健康状態を確認しています。また、看護師が常駐し、日中の急な体調変化にも対応できるよう、一人ひとりの健康管理を</p>		

<p>行っています。「入園のしおり」には乳幼児の感染症について症状などを細かく記載し、保護者に周知し予防に努めています。今後は健康に関する園の取り組みについて発信するとともに、職員間での情報共有が必要と思われます。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果のを保育に反映している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園内において年2回嘱託医による内科検診と歯科検診を実施しています。結果は児童票に記録し、職員間で情報を共有するとともに、保護者にもお知らせし診断結果に応じて受診を促し家庭での生活につなげています。今後は、心身の健康に対する関心が高められるよう保育内容への反映に努めていくことを望みます。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園時面接においてアレルギーや慢性疾患の有無を確認するとともに、職員間で情報を共有し、症状や食事面において状況に応じた保育を行っています。アレルギー疾患のある場合は、診断書をもとに聞き取りし、かかりつけ医が作成した生活管理指導表に基づき、対応食を提供しています。献立で使用している食材について、毎月保護者と園長・担任・調理員で確認し、提供する際は、「アレルギーカード」を用いて誤食がないよう細心の注意を払っています。今後も、引き続き研修を重ね、緊急時の対応等全職員への周知を望みます。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>給食は園内の調理室で作った出来たての食事を提供しています。献立表には季節のメニューやレシピを掲載し、10月以降は栃木市立保育園年長児からのリクエストメニューを取り入れるなど、食への興味を持たせ食べる意欲を大切に育てています。今後は、子ども自身が体験できる活動を通し食育の充実を図っていくことを期待します。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>安心・安全な食事が提供できるよう入園時には「アレルギー調査票」を提出してもらい、一人ひとりの子どもの状態を把握しています。地元産や旬の食材を使用した献立は毎月行われる給食会議において保育士と調理員で話し合い、嗜好や食べる量など翌月の作成に生かしています。咀嚼力が弱い乳児クラスは、月齢に合わせた食材の大きさや切り方に配慮し、食事中も嚥下確認するなど注意を払っています。今後は、調理に携わる職員が食事の様子を見る機会を設け、評価・改善につなげていくことを望みます。</p>		

## A-2 子育て支援

	第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携	

A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月発行する園だよりにてその月の保育の狙いをお知らせし、活動の意図や内容を理解していただけるよう努めています。日々の様子は、送迎時に伝え子どもの成長を共有するとともに、保育参観において保護者の方が保育士と一緒に子どもと行事体験することで保育園を知っていただく良い機会となっています。今後は、更に子どもの姿を伝えられる発信方法の検討を望みます。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>安心して子育てできるよう、保護者からの相談は個人面談を設け、悩みや園の要望など丁寧に対応しています。また、登園・降園の際にはクラスを問わずコミュニケーションを大切にし、どのような思いにも応えられる環境づくりを心がけています。今後は、更に組織的な取り組みを再確認するとともに、保護者の個々の事情を配慮し、早めの情報発信に備えることを望みます。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>登園の際には子どもの表情や言葉など、小さな兆候を見逃さず、日頃より保護者との連絡を密にとりながら、早期発見・早期対応・予防に努めています。虐待が疑われる場合には、速やかに各機関と連携し、適切な対応を行っています。今後は、マニュアルの適宜見直しと職員の意識改善が求められます。</p>		

### A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、日々の保育を振り返り、チェックリストを用いて自己評価を行うとともに、指導計画や記録を見直し課題改善に取り組み、より良い保育となるよう努めています。今後は、全職員の意識向上に繋がるよう、それらの結果分析を生かす取り組みが求められます。</p>		